

III 症状ごとの対応

2. 腹痛



子どもは、消化器官が未発達で、便秘などを起こしやすいものです。また、特に赤ちゃんがわけもなく繰り返し泣く時は、おなかが痛い可能性があります。

よくある腹痛の原因

 **乳児** 便秘、そけいヘルニア、腸重積

 **幼児** 便秘、急性胃腸炎、腸重積

 **児童** 便秘、急性胃腸炎、虫垂炎



家庭での対処方法

●腹痛が軽いときは、無理に食べさせないで水分（イオン水、微温湯、湯冷ましなど）を少しずつ飲ませて様子を見てください。

●お腹に「の」の字を描くようにやさしくマッサージしてあげると、少し楽になることもあります。



! 注意すること

! おなかに炎症があるとき（虫垂炎、胃腸炎など）には、炎症を悪化させる可能性があるため、カイロや湯たんぽなどでおなかを暖めないようにしましょう。



+ すぐ受診した方がよいとき

3ページに記した症状があり、さらに以下の症状がある。

- おなかをかがめて痛がる、おなかが痛くて歩けない。
- あかちゃんが足を縮めていて、泣きやまなかったり、間隔をおいてまた泣く。
- おなかが張ったり、股の付け根がはれている。
- 頻回の嘔吐をくりかえしたり、血便、下痢をともなっている。
- 高熱をともなっている。